

臨床医学コース

| 専門基礎科目 | 臨床科目 | 基本臨床実習科目 |

医療現場への第一歩、
臨床医学の基本を学びます



3年次 統合・血液学
「血液学総論」

コースの特色

ここでは、さまざまな疾病について勉強します。

疾病を多面的に把握し、内科学、外科学、専門医学などの臨床医学の基本を学びます。

患者さんを感情のある人間として理解したうえで、その病態、病状、検査所見、診断、治療の基本を身につけます。これは次のコースで、実際の患者さんに接する「臨床実習」においてとても大事なステップになります。

臨床医学コースでは、医学研究の入門となる医学研究演習を1カ月

行います。ここでは、学生が研究室に配属され、実験の方法や考え方を学ぶことで、将来の基礎医学研究者や研究医となるための素養を磨きます。

このコースの最後には、コンピューターによる知識や理解度を測るCBT、さらに医療面接（病歴聴取）や診察などの技能を測る実技試験「臨床実習前OSCE(Pre-CC OSCE)」の二つの全国共通の共用試験があり、これに合格して臨床実習に進むことになります。

EVENT



日頃の勉強の成果を発揮「医学展」

毎年、北大祭の期間中に行われる医学展では、4年生などが企画部門長となって救急対応などの指導や“妊婦さん体験・車いす体験”などを一般市民向けに行っています。



統合・膠原病・アレルギー学の講義（3年次開講）



医学科生からのメッセージ

臨床の扉をひらく

京野 里虹さん【5年生】
北海道札幌西高等学校（北海道）卒業

3年後期から4年前期の臨床医学コースでは、診断や維持、治療といった観点から病気について学びます。このコースで、各診療科の講義が1-2週間かけて行われ、医師になるための知識の土台をつくりあげていきます。学習を進めるうちに、人体の構造や機能、病態や薬の作用機序などの、基礎医学コースで学んだことが礎石となっていることをより実感しました。臨床医学コースでは、先生方から臨床医学の基本だけでなく、臨床現場での応用、最新の医学的知見を踏まえた講義を受けることができ、実習に向けて必要な知識や考え方を身につけることができます。

3年生の冬には医学研究演習があり、医学部の基礎系研究室の活動に参加し、基礎医学により近くで触れることができました。

また、4年生の夏にはCBT（Computer Based Testing）・OSCE（Objective Structured Clinical Examination）という試験があります。CBTはコンピューターを使って受験する共用試験で、OSCEは身体診察や採血、医療面接などを行う実技試験です。

これらを乗り越えると、いよいよstudent doctorとして臨床実習が始まります。

